

## 御霊木が倒れる

令和元年、台風 15 号が房総半島に上陸しました。

その猛威は尋常ではなく、これまでに経験したことのないものでした。

千葉県の広範囲で停電や断水が数日から数週間続き、生活は不自由を極め、加えて暴風による家屋被害が更に生活を追い詰める事態となったのは記憶に新しいことかと思えます。

被害にあわれた皆様におかれましては改めてお見舞い申し上げます。

ここ神野寺でも国指定重要文化財でもある表門の倒壊をはじめ、境内の木々が倒れ、奥の院ほか多数の建物が大きな被害を受けてしまいました。

台風通過のその日から神野寺は停電と断水。真っ暗闇です。

平時の行もままならず、日中はありがたくも駆けつけていただいた多くの支援者やボランティアの方々と片付け作業、修復の日々が続いていました。

## 再生と復興の兆し

ある日、ボランティアに来ていた方からあるお話をされました。

「今片付けているこの立派な倒木は御霊木になりますよね。これを再生して復興に役立てませんか？」

疲れ、余裕のない中のお話です。急には理解できませんでした。

後日、改めて起こしいただき、ゆっくりお話をさせていただきました。

その方は地元の商工会議所で君津未来地図なる事業者のビジネス支援をされているプロジェクトの方でした。

1 枚の紙が差し出され、見ると御霊木を使った復興モデルが書かれていました。

それは倒れてしまった御霊木を箸に加工、復興寄付金付の授与品とするものでした。

私が産まれるずっと前からそびえ立つ木々が無残に倒れ、ただ邪魔だからと隅に追いやっていたわけですから、それが生まれ変わるというお話は、たいへんありがたいもので、倒れた木々も救われると言いますか、喜んでくれると思いました。

## 乗り越えなければならない諸問題

乗り越えなければならない諸問題もあったようです。

まず、この被災地から御霊木を持ち出せるのか。倒木は生木でもあり水を多く含み、ひじょうに重たい。被災直後でしたので重機を入れることもできない状態でした。

更に木材は通常長い時間をかけて乾燥させていくものらしいのですが、短い時間で乾燥加工ができるのか。

私たちにとっても業者さんにとってもすべて初めてのことばかり。それでも君津未来地図の方はそれを乗り越えていくという強い意思というか確信を持っていました。

## 御霊木が箸として生まれ変わった

しばらくして君津未来地図の方々が起こしになりました。  
手提げ袋から箱に入った箸を取り出し「サンプルができました。」と。  
御霊木が生まれ変わったのです。

この箸は地元君津市内の秋元木工さんが作ってくれたものでした。  
あんなに重たい生木を人手だけで持ち出し、乾燥に時間がかかるであろう生木を完全に乾かしてあり、立派な箸に仕上げてくださいました。  
ご苦労されたかと思います。ありがたいことです。

多くの皆様のご苦労、ご協力を賜り、この度、御霊木の杉箸ができ上がりました。  
この箸を再建奉納金の授与品として神野寺にてご予約を開始させていただきたいと考えております。  
御霊木が生まれ変わった姿を見ていただけるだけでもありがたいことです。  
ぜひ復興中の鹿野山神野寺へお越しください。

## 再建奉納金付 復興祈願神野寺御霊木箸

金五千円也

お渡しは令和二年二月以降になります。  
また、数に限りがありますので重ねてご了承ください。

鹿野山神野寺 院代 岩間照種

「千葉県鹿野山神野寺 御霊木箸授与専用特設サイト」の開設準備を進めています。  
<https://www.goreiboku.com/>

御霊木箸をお手元に置いておきたい遠方の方向けの授与特設サイトを12月28日より公開予定にしております。